

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 25 日

事業所名 放課後等デイサービスニコニコ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3		様々な活動に合わせた環境設定をしている。	スペースの面では広いと思われるが利用者の相性や活動内容によってレイアウトを工夫している状況。
	2	職員の配置数は適切である	7			個別への対応を意識して配置している。	今後の事を考え職員募集を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	2	バリアフリーが必要な利用者は居ない状況。	階段の手すり、段差がないような作りをしている衝突防止の為ドアの開き方にも工夫している。
業	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	4		個別支援計画、アセスメントにおける会議の実施、ケース会議等も行っている。	会議では勤務体制の関係上参加できない職員の方も居る為、今後の課題として行く。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		面談等でも意見を伺う様にしている。	面談などだけではなく送迎時や普段の何気ないやり取りの中で改善できるものがあれば積極的に改善して行きたい。

業務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	ホームページ、保護者マイページに公表している。	今後、マイページには避難計画、BCP等を記載し保護者に周知して行きたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	年に1回講師を招き見学、講演を行っている。	第三者評価の方では完全に実施出来ていない。今後の課題とします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		月に1回以上研修会を行っている。	研修会とは別に月に3回全職員でミーティングを行っている。今年度は特に虐待防止や身体拘束、BCP、安全計画の会議を行っている
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		保護者の方に伺い作成している。	契約時、面談時、アセスメント時に保護者の方から本人さんの様子や利用における希望等、現在求めている事等を年に1回伺っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	アセスメント表を作成し記入して貰っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		職員全体で検討し起案している。	起案書を記入して貰っている。 活動後の振り返り等も今後行って行きたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	固定化しないように心がけている。	活動内容が同じ場合もあるので常に新しい活動を取り入れ飽きのないように取り入れていく。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			利用時間に合わせ設定している。	毎日のミーティングで個別支援計画に基づき課題を決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		個別活動と集団活動を適宜組み合わせている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		毎朝のミーティングで確認している。	毎朝、ミーティングを行っている。 (休日の職員には翌日伝えている)

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	6		翌日のミーティング等で話をしている。	支援終了時間が送迎、記録で一定にならない為その時のメンバーでは話をするがそれ以外は翌日の朝、振り返りを行っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			業務日報にて記録を取っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			モニタリング検討会議を行っている。	モニタリング月の児童の会議を行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	2		ガイドラインを確認している。	基本的な所はガイドラインを把握しそれに沿って当法人の特色に沿って行けたらと思う。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2		参加出来ている。	会議の日程にもよるが基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。参加できない場合は資料をお渡ししている。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	2		学校との情報共有、連絡、会議は行っている。	送迎の際に下校時間の調整や行事の把握をしている状況。支援会議や関係機関連携を今後も行っていく。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	4	対象者が居ない。	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておらず今後検討して行きたい

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		6	1	対象者が居ない。	今後、対象者が居た場合情報共有を行って行く。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	3	対象者が居ない。	今後、障害福祉事業所へ移行される方が居た場合情報提供を行う様にしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		7		必要に応じて研修を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	3	高校生、大学生のボランティア実習は行っている。	児童クラブや児童館との交流は無い。理解を求める面でも必要なので今後検討して行きたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6	1	参加出来ていない	参加したいがサービス提供時間と重なり中々参加する事が出来なかった。提供時間外であれば参加して行きたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		保護者の方とのやり取りは行っている。	送迎時、面談などで日頃の状況や今後の事について話をしている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		行っている。	保護者からの送迎時での質問、連絡の中で支援についての質問が多くありその都度対応している。
--	----	---	---	---	--	--------	--

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		面談で話をしている。	契約時に説明等を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		送迎時や事業所でお話させて頂いています。	送迎時や面談時に相談等がありその時にお話させて頂いている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	2	保護者会等は感染症が収束しなかった為行えていない。	今後、保護者同士の交流も考えて行きたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情があった場合直ちに確認し保護者対応を行っている。	普段より保護者の方と連絡をこまめに取りながら日々適切に対応して行きたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		定期的な会報は発信していないがイベント表や参加者へのお便りは毎回発行している。	利用状況によって利用者個人個人にお便りをお渡ししている。
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報書類は鍵付きの書庫で保管している。	今後も個人情報については十分注意して行く。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			サービス提供記録にて毎日詳しくお伝えしている。	絵や写真、張り紙を行い意思の疎通を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	1	地域の方々との交流は多くある。	事業所に地域の方々を招待することは無かったが交流は多くあった。今後、開かれた施設を目指し行事への招待も検討して行きたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			職員には周知しており保護者には契約時にお伝えしている。	保護者が常に見れるように事業所の玄関に常に設置している。今後、マイページにも載せ更なる周知を図っていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			年に3回以上行っています。	今年は、救急措置など外部からの講師を招いて研修を行いたいと思う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			虐待防止研修を行いその後委員会を開催している。	事業所内での周知は十分に行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	2	身体拘束研修を行いその後委員会を開催している。	事業所内での周知は十分に行っているが保護者には十分な周知は行っていなかったため玄関に資料を置き保護者にも資料を配布するようにして行く。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		保護者からのアセスメント情報により対応している。	おやつや調理実習の場合、ミーティング等で再度、注意し確認している。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			全体会議により共有しています。	ヒヤリハットの内容に基づき設備的に改善できるものは改善し再発防止に努めている
--	----	---------------------------	---	--	--	-----------------	--